

プログラム

1日目 (3月2日) 13:30 - 17:30

- 13:30 - 17:30 プレナリーセッション**
モデレーター: 松本悟氏 (法政大学)
- 13:30 - 13:45 開会のご挨拶**
黒田かをり氏 (オックスファム・ジャパン)
- 13:45 - 14:45 セッション1: 開発援助と公的資金**
◆ 北野尚宏氏 (国際協力機構研究所) 「SDGs達成に向けた東アジアからの開発資金の動向」
◆ リリアン・メルカド氏 (オックスファム・インターナショナル) 「アカウンタビリティとオーナーシップ-SDGs時代における援助の役割」
- 14:45 - 15:00 質疑応答**
- 15:00 - 16:15 セッション2: 民間資金**
◆ 柳田健介氏 (日本国際問題研究所) 「ASEANにおける産業構造の転換と海外直接投資」
◆ ルース・マランガ氏 (オックスファム英国) 「再考:SDGsにおける民間セクターの役割」
- 16:00 - 16:15 質疑応答**
- 16:15 - 16:30 休憩**
- 16:30 - 17:30 パネルディスカッション**
コメンテーター: 赤羽真紀子氏 (CSRアジア) / 松崎稔氏 (経済人コー円卓会議日本委員会)
- 18:00 - 20:00 レセプション(交流会)**
◆ 歓迎の辞 山口誠史氏 (オックスファム・ジャパン)
◆ 来賓挨拶

2日目 (3月3日) 10:00 - 17:00

- 10:00 - 12:30 プレナリーセッション**
「SDGs達成に向けた協働のために / それぞれの視点から」
モデレーター: 高橋清貴氏 (恵泉女学園大学)
- 10:00 - 11:45 登壇者発表**
◆ 佐藤寛氏 (ジェトロ・アジア経済研究所) 「全日本SDGs取り組み連盟?」
◆ 牛島慶一氏 (アーンスト・アンド・ヤング) 「日本企業に求められる今後の役割」
◆ 青柳仁士氏 (国連開発計画駐日代表事務所) 「SDGsとビジネス-国連の新たな取り組み」
◆ 趙公章氏 (韓国環境政策評価研究院) 「SDGsの達成のためのセーフガードの役割」
◆ 大野容子氏 (セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン / SDGs市民社会ネットワーク)
「『誰一人取り残さない』という約束を実現するために:日本の市民社会からの提言」
- 11:45 - 12:30 質疑応答&ディスカッション**
- 12:30 - 13:30 ランチ**

13:30 - 15:15 分科会セッション

分科会A サプライチェーンにおける取り組みと課題
モデレーター: ポンサゴーン(アート)サットジバン氏 (オックスファム・イギリス)

- 13:30 - 14:30 登壇者発表**
◆ ダンテ・ダラバヤン氏 (オックスファム・フィリピン事務所) 「(調整中)」
◆ カール・マルクス・カルンバ氏 (IDEALS) 「フィリピンバナナ産業における労働契約の課題」
◆ 松崎稔氏 (経済人コー円卓会議日本委員会) 「サプライチェーンとSDGs」
◆ 星野俊彦氏 (富士フィルムホールディングス経営企画部CSRグループ) 「CRTとSDGs (サプライチェーン)への取組み: 業界の人権課題と対応、弊社の活動から」
◆ 黒田かをり氏 (CSO ネットワーク) 「日本におけるISO20400と持続可能な調達」

14:30 - 15:15 質疑応答&ディスカッション
コメンテーター: 印鑰智哉氏 (オルタナティブ・ジャパン)
山田太雲氏 (テロイト・トーマツ・コンサルティング)

15:15 - 15:45 コーヒーブレイク

15:45 - 17:00 プレナリーセッション

「振り返り、そして次なるステージへ向けて」
モデレーター: 森下麻衣子氏 (オックスファム・ジャパン)

15:45 - 16:00 分科会を振り返って

16:00 - 16:40 論点整理: 緊張と課題の解決に向けて

- ◆ 石川知子氏 (名古屋大学) 「投資保護と公益保護の調和-投資協定とCSRの発展」
- ◆ ルース・マランガ氏 (オックスファム・イギリス) 「実施に焦点を: 民間セクターとSDGs」

16:40 - 17:00 この先へ: 期待と取り組み

コメンテーター: 稲場雅紀氏 (SDGs市民社会ネットワーク)

13:30 - 15:15 分科会セッション

分科会B 官民連携事業 (PPP)
モデレーター: ケビン・リー氏 (オックスファム香港)

- 13:30 - 14:30 登壇者発表**
◆ ジェン・ボブモ氏 (ソウル国立大学アジアセンター) 「開発をもたらす『はずみ』と貧困層の社会関係資本-フィリピン南北通勤鉄道事業の事例から」
◆ キャサリン・マクドネル氏 (アース・ライツ・インターナショナル) 「フレンド型融資のインパクトと課題-ミャンマー経済特別区における日本によるODAを事例に」
◆ ケビン・メイ氏 (オックスファム香港) 「中国の対ミャンマー投資の課題と対話のためのイニシアチブ」
◆ 高木晶弘氏 (CSO ネットワーク) 「SDGs時代の日本のODAと官民連携-オックスファム報告書『アカウンタビリティとオーナーシップ』から考える～」

14:30 - 15:15 質疑応答&ディスカッション
コメンテーター: 石渡幹夫氏 (国際協力機構)

国際シンポジウム

SDGs時代における 東アジアからの 開発資金の潮流と課題

日時 3月2日(木) 13:30~17:30【開場 13:00】
交流会 18:00~20:00

3月3日(金) 10:00~17:00【開場 9:30】

会場 法政大学 市ヶ谷キャンパス
3月2日(木) 富士見ゲート棟6階
ボアソナードタワー26階(交流会)
3月3日(金) 富士見坂校舎3階

主催 特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン

共催 法政大学国際文化学部
一般社団法人 SDGs市民社会ネットワーク

後援 UNDP駐日事務所 / CSRアジア

開 発をめぐる資金のあり方は大きく変わりつつあります。持続可能な開発目標 (SDGs) の発効から1年あまりたった今、開発資金の実情とあるべき姿を考えるためにオックスファム・ジャパンでは今回のシンポジウムを企画しました。

途上国支援のための資金は、公的資金であるODA (政府開発援助) を中心にこれまで議論されてきました。しかし新興ドナーの台頭や先進国政府の厳しい財政状況を背景に、「官民連携」のかけ声のもと民間資金の存在感が増し、また新興国による「南南協力」が推進されるなど、従来の公的資金の枠ではくれない資金の流れが顕著です。

他方、民間セクターにおいては、ビジネスと人権やCSVに関する議論を通して、国際的な開発課題における民間企業の責任と役割について議論が進んできました。開発とそのため資金、役割を、今どのように考えるべきでしょうか。

持続可能な開発目標 (SDGs) を踏まえ、東アジアの開発資金の現状とあるべき姿を考える本シンポジウムでは、2日間にわたり、NPO/NGOの実務者、研究者、政府および企業の担当者など、セクターを超えた内外の方々にご登壇いただきます。活発な議論を展開していただき、開発資金の潮流と課題を見極め、考えるための一助となることをねがっています。

オックスファム・ジャパン 代表理事 黒田かをり



OXFAM
Japan

